



名寄市立大学の窓から

知への誘い

vol.103



大学と地域の橋渡し拠点

「コミュニティケア教育研究センター(ケア研)です」

「コミュニティケア教育研究センター センター長 荻野 大助

2016年度からスタートした『コミュニティケア教育研究センター』(通称「ケア研」)は、名寄市立大学の付属機関であり、

「子どもたちの成長と地域社会の形成に寄与すること」を目的に、大学生が中心となつて「子どもの学習支援」「子どもの居場所づくり」を行う

各学校に案内チラシを配布しますので、ぜひ見てみてください。

本学の教育活動のさらなる充実を支える組織です。「地域との連携協働により、保健医療福祉、保育、教育、産業振興ならびに地域活性化などに関する課題発見および解決に取り組み、地域貢献に資する教育研究の充実・発展を図ること」を目的に、大学と地域の橋渡し拠点として、「教育」「研究」「地域交流」においてさまざまな活動をしています。

このプロジェクトは、地域の子どもの成長と地域社会の形成に寄与することを目指し、大学生が中心となつて「子どもの学習支援」「子どもの居場所づくり」を行うものです。本来であれば「子ども食堂」も一緒に行うのですが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から今年度はお休みします。小中学生の皆さん、普段接することの少ない大学生と一緒に勉強をしたり、遊んだり、おしゃべりをしたりするひとときを過ごしてみませんか？



なよろ子ども支援プロジェクト

- ◆とき 11月21日(日) 10時~12時
 - ◆ところ 名寄市民文化センター
 - ◆持ち物 勉強道具、筆記用具、マスク
 - ◆内容 学習支援、子どもの居場所
 - ◆参加料 無料
 - ◆申し込み 不要です、当日直接会場に。
- ※お問い合わせはコミュニティケア教育研究センター01654@7661まで

2つ目は、社会保育学科が主催する「こどもセミナー」です。このセミナーの

目的は、第一に本学の教育・研究の成果を広く地域に還元すること、第二に卒業生のリカレント教育を行うことです。今年度のセミナーでは、改めて社会の多様なあり方について考えるという意図で、テーマを「こども

が育つ社会・インクルーシブ保育の視点から考える」と設定しました。子どもは社会の一員であり、保育現場は最も早期に子どもが出会う社会としての機能を担う場です。そうしたことから、多様な子どもへの包摂を目指すインクルーシブ保育の理念と実際について考える機会にしていきたいと考えています。ご興味のある方はぜひご参加ください。

こどもセミナー

- ◆とき 11月23日(火) 9時20分~
- ◆ところ 名寄市立大学図書館大講義室
- ◆内容 基調講演およびシンポジウム
- ◆申し込み

次のコードを読み取って申し込んでください※19日18時まで
※お問い合わせは社会保育学科こどもセミナー担当01654@4194まで



ケア研では、今後も大学が持つ資源を生かし、地域住民の生涯教育、専門職の継続教育、地域社会の課題解決に資する研究、学生や教職員による地域交流など、大学と地域とを結びさまざまな活動を行っていきます。

名寄市立大学の令和2年度決算状況をお知らせします

収入		金額	支出		金額
運営経費	授業料・諸納付金	4億9,955万5千円	運営経費	人件費	10億7,610万円
	入学金・受験料	6,183万9千円		物件費・維持補修費・補助費等(ほか)	4億6,210万7千円
	一般会計繰入金	10億9,836万4千円		備品費等	1,969万3千円
	その他	4,718万4千円		運営経費支出計	15億5,790万円
運営経費収入計		17億694万2千円	設備投資	設備投資費	1,934万2千円
設備投資	国・道支出金	3,604万円		公債費(償還金)	2億2,110万8千円
	一般会計繰入金	5,533万8千円		設備投資支出計	2億4,045万円
	その他	1,396万6千円	支出合計額	17億9,835万円	
設備投資収入計		1億534万4千円	積立金		金額
収入合計額		18億1,228万6千円	今後の大学運営のため(寄附、利子積立)		1,393万6千円
◆問い合わせ 名寄市立大学事務局総務課 ☎01654@4194			積立金合計額		1,393万6千円